



加唐島

かからしま

- 人口 133 人
- 面積 2.83 km²
- 周囲 14.6km
- 標高 123m

※人口は平成31年3月1日現在



百済の王・武寧王ぶねいおうが生まれた地 日韓の架け橋の島です

加唐島は、佐賀県の最北端に位置します。古代朝鮮三国時代の百済王である武寧王は、ここ加唐島で生まれたと言われ、毎年6月には「武寧王生誕祭」が開催されています。

島の高台からは玄界灘を一望でき、晴れた日には長崎県の壱岐・対馬まで望むことができます。また、加唐島は「椿の島」としても知られ、早春になると咲き誇る椿の花は美しく、秋には実を収穫し、椿油をしぼります。純度100%の椿油は特産品としても有名です。



漁師が絞る椿油は黄金色。
海と一緒にキラキラと輝いていました。

船乗り場から続く猫の足跡をたどっていくと、小さな建物が見えてきます。

ここでは島で収穫された椿の実から椿油が絞られています。

加唐島には野性のヤブツバキが自生し、昔から「椿の島」として知られていました。

普段は漁師の島のお父さんたちが馴れた手つきで分担した作業をこなしていきます。

純度100%の椿油は特産品として島の未来を担っていきます。

椿の実に触れるお父さんたちの肌も笑顔もツヤツヤと輝いています。

